

形成外科

《概要》

【人員構成と施設資格】（平成22年12月31日現在）

常勤スタッフ1名（中川達裕：日本形成外科学会認定専門医）・常勤医員1名（那須賢花）の計2名。
日本形成外科学会認定施設。

【主な診療内容と特色】

- 皮膚良性腫瘍、母斑、血管腫、皮膚悪性腫瘍の外科的治療
小児の皮膚腫瘍手術は、日帰り全身麻酔手術でおこなっています。
- 顔面骨骨折の観血的整復手術
吸収性プレートを用いるので、後日のプレート除去は必要ありません。
- 眼瞼下垂・睫毛内反の修正手術
先天性眼瞼下垂、腱膜性眼瞼下垂などの治療が可能です。
- レーザー治療
表在性血管腫に対するダイレーザー治療、太田母斑・異所性蒙古斑・外傷性色素沈着に対するアレクサンドライトレーザー治療、皮膚表在性病変に対する炭酸ガスレーザー治療が可能です。
- 乳癌術後の乳房再建
自家組織による再建以外にも、シリコンバッグによる乳房再建が可能です。また乳癌切除と同時にエキスパンダーバッグを挿入し、不足皮膚を拡張することで整容性の高い再建が可能です。
- 顔面神経麻痺の外科的治療
眉毛・眼瞼・口角下垂の矯正や、神経移植による機能回復手術が可能です。
- 熱傷の治療
- 外傷後や手術後の瘢痕、ケロイドの治療
- 陥入爪・巻き爪の治療
矯正ワイヤーを用いた非観血的治療や、フェノール法による観血的治療をおこなっています。
- 癌切除後再建、外傷性・難治性皮膚欠損の再建手術
頭頸部癌切除後のマイクロサージャリーによる再建手術や、その他各種癌切除後欠損・外傷後欠損の再建手術をおこなっています。
- 院内活動
全入院患者の褥瘡対策を担い、褥瘡対策チームの中心として看護師・栄養指導士とともに週1回の褥瘡回診をおこなっています。

《実績》

手術患者数統計(2010.1.1～12.31)

【日本形成外科学会・学会区分による統計】

熱傷	6
顔面軟部組織損傷	18
顔面骨骨折	16
四肢の外傷	6
外傷後の組織欠損（2次再建）	2
先天異常	18
良性腫瘍	258
悪性腫瘍	52
腫瘍切除後の再建	28
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	16
褥瘡	5
その他の潰瘍	12
炎症・変性疾患	50
美容（手術）	1
その他	4
レーザー治療	158
合計	650

《業績》

(1) 学会研究会報告(2010.4～2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	脳血行再建術後のもやもや病患者の頭皮欠損に対し、Extracorporeal free flapを用いて再建した1例	中川達裕 那須賢花	第53回日本形成外科学会総会・学術集会	2010.4.7-4.9
2	硫化水素による自殺企図患者の化学熱傷の一例	那須賢花 中川達裕	第95回日本形成外科学会関西支部学術集会	2010.7.11

(2) 学術講演(2010.4～2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	乳房再建と顔面の形成外科手術	中川達裕	泉佐野・泉南薬剤師会合同勉強会	2010.5.13
2	放置してはいけない皮膚のデキモノのお話	中川達裕	市民健康講座	2010.7.17

(3) 院内研究活動(2010.4～2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	陰圧閉鎖療法による褥創・難治性潰瘍の治療	那須 賢花	2010.11.25 臨床集談会